

発行

株式会社 エスクリエイト

名古屋市中区錦一丁目4番16号 日銀前KDビル4階

TEL: 052-222-3600 FAX: 052-222-3699

URL: <http://screate-soft.co.jp/>

担当: コンサルタント 石垣 智博

tomohiro.ishigaki@screate-soft.co.jp

「ホームページリニューアル」と「変革」

早いもので、年が明けて1カ月経ちました。正月の酔いもさめ、仕事はエンジン全開だと思います。

◆あのコダックが・・・!

最近、驚きのニュースがありました。誰もがその製品のお世話になったことがあるだろう米コダックが破産法申請しました。フィルム事業にこだわりライバルから大きく出遅れたことが一因にあるとのこと。世界初のデジタルカメラを開発したのにもかかわらずです。

また、1月20日付けの日経新聞の社説は「日本車の巻き返しには自己変革が必要」というタイトル。「変革を持続する姿勢を示し一歩先を常に歩いていく必要がある」と掲載されていました。

コダックの件にしても、その社説にしても、旧態依然のままでは、衰退していく一途だとしみじみ感じます。

◆ホームページをリニューアル

ということで、弊社も旧態依然?としていたホームページを1月26日にリニューアルしました。もちろん以前のホームページもリニューアル当時は素晴らしかったのですが、ホームページの役割が時と共に変わってきており、それに対応するためリニューアルに至りました。概要は、次の通りです。

- ① デザインを変更し使い勝手が良く親しみやすくしました。(ページサイズ・見た目を今風に)
- ② 商品、サービスに関する構成を見直し、知りたい情報へのアクセス性を向上させました。(感覚で操作可能に)
- ③ 情報発信ページ(スタッフブログ、エスクリエイト通信(SC通信))を新たに設けました。(静的を動的に)

「ホームページを新しくしただけじゃん!」と思われるかもしれませんが。

しかし、別の効用としてリニューアルしたホームページが個人の変革を促す「きっかけ」になる可能性があります。

例えば、社員にとって(私も社員ですが)勤務している会社を誇りたいものです。俺・私・お父さん・お母さんの会社はこうなんだ!と友人・知人・家族に紹介したいはずです。会社のホームページを見れば一目瞭然です。会社に対する誇りがさらに持てるようになるというものです。(家庭で、父の威厳が上がります!)

また、情報発信機能で社員をもっと前向きにさせる効用を得ることが可能となります。弊社ホームページにはスタッフブログとSC通信(本紙)を掲載するようにしました。ブログに記事を書き情報を発信する行為は、社員同士、社員と外部とのかかわりをブログ上で醸成できることです。たとえ誰にも閲覧されないブログだとしてもです。ただ、大企業だとホームページ上で社員自ら情報発信していくのは難しいので、中小企業ならではの施策ではあります。

◆会社の変革には社員の力が必要

経営戦略や社長の旗振りだけで会社の変革を実行していくのは、変革が滞る可能性があります。遂行する現場社員自身の変革又は意識改革がないと、本当の変革として進捗しないからです。さらに、進捗したとしても表面上の変革となり変革が浸透しないことも考えられます。

社員の意識改革・自己変革は、昨年まで中日ドラゴンズの監督だった落合氏就任時の言葉「選手の能力を10%底上げする」と似ています。意識改革・自己変革とは「今より前向きな姿勢になっていく」ということです。弊社の場合、その「きっかけ」づくりがホームページの隠れた役割です。「前向きにやれ!」といっても簡単に前向きになれば誰も苦勞しません。意識変革・自己変革を促す「きっかけ」が得られる仕組みが必要となると考えます。



そして、ホームページでなくても「きっかけ」はつくれます。例えば、「人に教える」ということが挙げられます。人にものを教えるということは、教える当人は教える内容をより深く広く知っていないと教えられません。よって、教えるという行為は成長を促します。成長を感じるとより成長したいと思うものです。それが自己変革への「きっかけ」です。「社員を講師として、プログラム言語の講師をさせる」「ある中堅社員に若手をみっちりつける」「業務報告プレゼンをさせる」などです。

企業を支える「人」の意識改革・自己変革を促すことが、変革のスタートです。

「本は考える為のサプリメント」(その10)

「本は考える為のサプリメント」です。考える為の知識を本から学び、日々のビジネス活動で活かそうという企画です。今月は、最近座右の書籍になった本を紹介いたします。

「実践するドラッカー[思考編]」(上田 惇生監修)

なんといっても、本書は読みやすく、理解しやすく、実践あるのみ、という書籍です。(タイトル通り!) 本書を手に取り際に他のドラッカーの書籍と比べてみると一目瞭然です。様々なドラッカーの書籍からメッセージが抜粋されたつくりで、見開きで1つのメッセージを説明しているからです。

内容は、自己を成長させていくためにどのような思考が必要なのか?が記されています。まえがきに「セルフマネジメントに焦点を当てた」とあり、まさにその通りです。さらに、実践シートと呼ばれる読者が記入するページが備わっており、書くことで、再認識できたり、新たな自分を発見できるつくりとなっています。

この書籍は自己変革の「きっかけ」ともなるワークブックだと言えます。お勧めです。

ソフトブレン&エスクリエイト 共催セミナー開催のお知らせ。

3月にセミナーを開催いたします。

テーマは『不幸な結果から学ぶ、HAPPYなITの導入』

「ITを導入しても効果が出ない」

「ITを導入したのに運用コストが多くなった気がする」

「ITを導入したが使わない・使えない」

などなど、不幸な結果をもたらすITの導入が、まだまだ見受

けられます。

その原因は何なのか?どのようにIT導入すれば“HAPPY”になれるのか? 本セミナー第一部では、不幸な結果をもたらしたIT導入について、事例を基に不幸となった原因分析を行います。

そして、IT導入で“HAPPY”になるための方法についてご紹介いたします。

引き続き第二部では、第一部での『“HAPPY”になるIT導入』方法を活用した営業業務改革ソリューションについてご紹介いたします。

是非ご参加頂き、業務改革・IT導入・営業改革のヒントをお持ち帰りください。

記

日時: 3月8日(木) 14:00~16:00 受付開始 13:30

場所: 愛知県産業労働センター(ウインクあいち)

1005会議室

定員: 30名限定

費用: 無料

詳細は弊社ホームページ (<http://screate-soft.co.jp/>)、又は下記よりお願いします。

お申し込みは今すぐアクセス

ソフトブレンセミナー

検索

編集後記

先日、職場の「パワハラ」が「業務の適正な範囲を超えて、精神的・身体的な苦痛を与えること」と定義されました。はっきりと定義しなければならぬほどの状況ということなのでしょう。健全な業務活動は経営の基礎だと思えます。パワハラで勤労意欲が低下した社員がいるというのは経営者としても避けたいところです。これを機に減少してほしいです。

ただ、仕事に真剣に向き合うものとそうでないもので、齟齬をきたすことはあるでしょう。部下の姿勢を正すのも上司の役割だと思えます。業務の適正な範囲での叱咤激励は必要だとは思いますが…。業務の適正な範囲がキーワードですね。

話は変わりますが、日本海側の大雪、凄すぎます。知ってる限りですが、平年の1.7倍もの積雪があった所がある模様。暖冬といわれながらもこの雪の量、これも異常気象なのでしょうか。早く寒気が去って行くことを祈るのみです。反対の太平洋側はかなり乾燥しています。インフルエンザと火事には十分注意してください。(石)